

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	◎	農・林・水産業	
			地域医療・福祉・介護、教育		観光・交流	
			地域コミュニティ・集落再生	○	環境	
			地域交通・情報通信		まちづくり	
ふりがな		よねだ まさこ				
氏名		米田 雅子				
所属	名称	東京工業大学 環境・社会理工学院				
	役職	特任教授				
連絡	住所	(公開)	〒113-0023			
			東京都文京区向丘1-5-4 ワイヒルズ2階 米田事務所(秘書 中川 寛子) (職場)			
	連絡先	(公開)	E-mail h.nakagawa[アットマーク]psats.or.jp			
		(公開)	TEL 03-5876-8461		FAX 03-5876-8463	
	連絡方法		E-Mailでお願いします			
略歴		・昭和53年 お茶の水女子大学 理学部数学科卒業 ・昭和53年 新日本製鐵株式会社入社 構造解析担当 ・昭和61年～平成元年 夫の赴任に伴い英国・米国滞在 ・平成7年4月～平成12年3月 東京大学建築学専攻松村研究室 研究生・研究員 ・平成10年11月よりNPO 法人建築技術支援協会設立、理事就任 ・平成18年4月～19年3月 東京工業大学 統合研究院 特任教授 ・平成19年1月～22年3月 内閣府 規制改革会議委員 ・平成19年4月 慶応義塾大学 特任教授に就任 ・平成19年6月 建設業の新分野進出支援に関して内閣総理大臣表彰を受賞 ・平成21年12月～平成22年5月 内閣府 PFI推進委員会委員 ・平成24年 東京大学より博士(環境)を取得 ・平成25年 国産材マーク推進会設立・会長就任 ・平成28年 防災学術連携体(47学会)を設立、事務局長に就任 ・平成28年 日本学術会議会員に就任 ・平成29年 日本学術会議第三部幹事、土木工学・建築学委員長に就任 ・平成30年 日本学術会議防災減災学術連携委員長に就任 ・平成30年 防災学術連携体(56学会)代表幹事に就任 ・令和2年7月 農林水産省 農福連携ノウフクアワード審査員就任 ・令和2年 日本学術会議第3部副部長に就任 ・令和3年 東京工業大学環境・社会理工学院特任教授に就任 ・令和5年 宇都宮大学理事に就任				
著作・論文等		「縦割りをこえて日本を元気に」「大震災からの復旧—知られざる地域建設業の闘い」、 「複業のすすめ—地域建設業の挑戦」、 「日本は森林国家です」、 「建設業からはじまる地域ビジネス」、				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	「日本には建設業が必要です」他。新聞・雑誌掲載多数		
取組概要	2007年～2010年に内閣府規制改革会議委員(地域活性化、農林水産業、あじさい・もみじ要望を担当)。補助金適化法の弾力運用、ボランティア有償運送の実現、農地法・酒税法・森林法改正に寄与。 構造改革特区評価・調査委員、PFI推進委員会委員、経産省の農商工連携88選委員長等を歴任。農商工連携、林建協働、平成検地の政策を提唱。 現在は、建設産業、建設業の複業化、防災、森林再生、地方公共政策など幅広い分野で、フィールドワークを重視した研究と支援活動を行い、大震災後の防災・減災政策にも取り組む。日本学術会議会員。阿蘇山上観光復興推進会議委員。建設トップランナー倶楽部代表。上閉伊地域(釜石、遠野、大槌)復興住宅協議会顧問。JAPIC(日本プロジェクト産業協議会)森林再生事業化委員会特別顧問。国産材マーク推進会特別顧問。防災学術連携体(日本学術会議と連携)代表幹事。		
メッセージ	地域経済の活性化のためには、山、里、海の幸を活かした農林水産業の復活を忘れてはなりません。市場規模の小さな地方が自立型産業を興すためには、企業が複数の本業をもつ「複業会社」、農商工の連携、林業と建設業の共働のように複数業種が協力して事業を行う「複業化」が重要です。地方の建設会社が新分野へ多角化することで生き残り、地域ビジネスを興しながら、同時に社会基盤を担うことも重要です。全国の事例をもとに地方を応援します。		
関連ホームページ	http://www.yoneda-masako.com/	活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。